

平成19年度第3回京都大学防災研究所自然災害研究協議会 議事録

日 時：平成20年3月6日(木) 13:30 - 16:30

場 所：京都大学 宇治地区研究所 新棟1階遠隔講義室(HS-109)

出席者：山岸宏光、飯塚 敦、岡田憲夫、加賀屋誠一、真野 明(代理：佐藤 健)、渡邊邦夫、
水谷法美、矢田部龍一、善 功企(代理：笠間清伸)、寶 馨、間瀬 肇、中田節也、藤
吉康志、森脇 寛

オブザーバー出席：石原和弘(防災研究所長)、佐藤照子、角井宏司(代理：本田綾子)

欠席者：吉田真吾、藤田正治、堀 宗朗、牧 紀男

オブザーバー欠席：鏡味洋史(前議長)、渡邊 淳、村田 穰

議事に先立ち、岡田憲夫議長より挨拶があった。

- ・ 前回議事録の確認(資料1)

寶総務より資料1に基づき前回の議事録の説明があり、日時・場所および6.の「資料5」
を「資料6」に修正ののち承認された。

- ・ 出席者(代理)の確認(資料2)

出席者の確認を行った。

議 事(案):

1. 平成19年度の活動報告

(1) 総務担当報告

寶総務より、資料7に基づき今年度の活動全体の概要について報告があった。第44回
自然災害科学総合シンポジウムの論文集が配付された。また、分科会活動・河川災害シン
ポジウム(3/5、広島大学工学部)の冊子が下旬に印刷されること、防災フォーラム第6
回シンポジウム「能登半島地震と新潟県中越沖地震から学ぶ」が3/15に東京大学小柴ホ
ールで開催されることがアナウンスされた。

(2) 地区部会報告(資料3)

北海道地区部会(資料3-1): 加賀屋地区部会長より、平成19年度第2回自然災害地区幹
事会・センター運営委員会(12/18)、防災フォーラム(3/11、日本雪氷学会北海道支部
との共催)、平成19年度自然災害地区総会および講演会(3/3)、特別講演会(佐渡公明
教授、藤間聡教授)などについて報告がなされた。

東北地区部会(資料3-2):佐藤地区部会幹事長より、東北地域災害科学研究集会および東北地区部会総会(1/12-13)、東北地域災害科学研究第44巻(3月下旬発刊予定)、文献データベース SAIGAI のデータ入力、ウェブページの運営管理、シンポジウム等の講演などの活動報告がなされた。また、平成20年度より協議会2号委員(東北)は、真野明委員から海野徳仁(東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター教授)に交代すること、ならびに平成20年度の活動予定が報告された。

関東地区(資料3-3):渡邊地区部会長より、次期部会長(2号委員・関東)に桑野二郎埼玉大学地圏科学研究センター教授が就任すること、市民科学オープンフォーラム(1/21)、予算使用状況、データベース入力件数などが報告された。なお、埼玉大学では航空写真の情報をデータベース化しており、その方法などについて埼玉より情報提供してもらうこととなった。

中部地区(資料3-4):水谷地区部会長より、平成19年度の講演事業として、新潟県中越沖地震報告会(10/5)、中越大震災三周年記念シンポ(10/20)、富山県高波災害に関する被害調査(予定)について報告された。20年度の活動として、治水・水防災フォーラム、伊勢湾台風50周年記念企画、災害対策室との連携などが報告されるとともに、中部地区部会の連絡網整備を強化することが示唆された。

関西地区(資料3-5):矢田部地区部会長より、自然災害フォーラム・自然災害シンポジウム(1/17、愛媛大学)の報告があった。20年度は、自然災害フォーラム・自然災害研究集会(高松市が候補の一つ)と出前講座、意見交換会が検討されている。

西部地区(資料3-6):笠間地区部会長代理より、平成19年度自然災害研究協議会西部地区部会発表会(2/16、九大西新プラザ)の報告があった。また、平成20年9月24日のオープンフォーラム(九大西新プラザ)、25、26日の日本自然災害学会学術講演会(九大伊都キャンパス)がアナウンスされた。

(3) データベース担当報告(資料4、第11頁は削除)

牧委員欠席のため、竇総務より、自然災害データベース SAIGAI の登録件数、入力状況、科研費の申請、地区部会ごとの科研費予算の執行状況(2/16現在)などについて報告がなされた。

2. 平成19年度予算執行状況(資料5、予算表標題の「18年度」を「19年度」に修正)

竇総務より、19年度の予算ならびに執行状況が報告された。

3. 平成20年度委員の交代について(資料6)

下記のような委員の交代が報告された。

1号委員: 丸井英明(新潟大学災害復興科学センター教授) 山岸宏光委員より交代。

2号委員: 海野徳仁(東北大学大学院理学研究科教授) 真野明委員より交代

- 2号委員： 桑野二郎（埼玉大学地圏科学研究センター教授） 渡邊邦夫委員より交代
3号委員（総務担当）： 間瀬 肇（京都大学防災研究所教授）企画調査担当よりスライド
3号委員（企画調査担当） 西上欽也教授（京都大学防災研究所教授） 實 馨委員と交代。
3号委員（企画調査担当） 未定。 堀宗朗委員と交代予定。
5号委員（防災科学技術研究所） 未定。 森脇寛委員と交代予定。

4. 平成20年度の計画について(資料7)

平成19年度の全体計画と実施状況（資料7）に準じた形で平成20年度の活動を行うことが確認された。

中田委員より、「地震・火山噴火予知研究計画シンポジウム」講演資料集が配付され、次期計画の建議の内容について審議・修正され、パブリックコメントを求めており6月中に建議が取りまとめられ、7月の科学技術審議会に提出される見込みであることが紹介された。

5. 文部科学省の最近の動向について

(1) ODA との連携を通じた科学技術外交の強化施策

實総務より、「地球規模課題」に関する二国間の共同研究、人材派遣のプログラムが新たに立ち上がること、前者については、文部科学省・科学技術振興機構に5億円、外務省・JICAに10億円の予算が計上される見込みで、環境・エネルギー、防災、感染症の3分野で10件程度のODAによる研究計画が採択される見込みであり、年度末に公募が始まることが報告された。

(2) 平成20年度の防災関連予算

文部科学省よりオブザーバー欠席のため省略。

(3) 防災科学技術研究所のJAMSTEC との統合について

防災科学技術研究所森脇委員より、海洋開発研究機構（JAMSTEC）との統合に至った経緯などが説明された。

6. 自然災害研究協議会の在り方について

協議会活動のさらなる充実のための方策について若干の議論を行った。体制の再構築・活動内容の見直しなど、今後1年かけてワーキンググループを設けて議論することとした。

7. その他

- (1) 学協会等の動向： 土木学会の論文集が英文化される方向で検討されている。
(2) 次回協議会： 5月13, 15, 16日のいずれかで開催する。日程調整は間瀬委員（総務担当）が行うこととした。

配付冊子等（資料）

- ・ 第44回自然災害科学総合シンポジウム講演論文集

- ・ “ 彩の国 ” 市民科学オープンフォーラム 大地震から人命と社会を守る 講演および討論会資料 (平成 20 年 1 月 23 日、大宮ソニックシティビル 4 階・市民ホール)
- ・ 京都大学防災研究所 D P R I Newsletter No.45 ~ 46
- ・ 防災科学技術研究所パンフレット Introduction to NIED

回覧資料：

- ・ 地震・火山噴火予知研究計画シンポジウム第 1 部平成 19 年度成果報告会講演資料集 (2008 年 3 月 3 日~3 月 5 日、東大地震研)

(以上)